

W I L S O N A U D I O S y s t e m 7



WILSON AUDIO System 7

ききこむほどに、それはすばらしい体験に変わる。



ディビッド・ウィルソンは常にスピーカーと音楽との関わりについて考え続けています

スピーカーとは演奏家の魂と聞き手の心とにコミュニケーションを呼び込む手段であるからです。それ故、ウィルソンは「スピーカーは音楽を見る窓である」と定義します。カメラに例えればそれはレンズであり、曇りもゆがみも無く、今そこにある形と色とを私たちの聴覚に届けます。そこから脳組織が刺激され、快く、洗練された感動を呼び起こしてくれるコミュニケーションができるオーディオシステムを！これがウィルソンオーディオの出発点です。ウィルソンオーディオの原点となったWATT/PUPPYの七度目の変身。その完成度は大きく飛躍し、新たなリスニングの指標をオーディオ界に提示します。音楽に含まれる重要なシャドウ部のグラデュエーションを再現したうえで、さらにコントラストを明瞭に、ノイズレベルをより低く、そしてセトルタイム、ライズタイムをスピードアップし、今まで考えられなかった領域へとオーディオファイルを導いていきます。

絶対的なコンセプトをもってすべてのディテールを磨き上げる。完璧さはそうして追求される

スピーカーは音楽のために存在します。決してその逆ではありません。WATを1986年に発表して以来、すべての考えられる細部にわたる改良に改良を加えて、世界のオーディオファイルをうならせてきました。ジュラシックパークやタイタニックなどを手がけたハリウッドの才能豊かなサウンドエンジニアたちに愛用され、世界三大テノールの一人にも愛用された事実からも、すでに他を寄せ付けぬ完成度を誇ったシステム。その細部にさらに磨きをかけて、未来に向けて生み出された造形。それがシステム7です。そのディテールの進化は次の4点に見られます。

1) キャビネット素材こそスピーカーの能力を決定する：システム7は強化エポキシベース新素材の積層による全く新しい素材を硬度とコンプライアンスに優れたX材と併せて使用しています。ほとんど完成の域に達したと言われたシステム6のキャビネット共振を低減させることに成功し、ノイズフロアレベルはさらに低く、深くなっています。システム7は透過した透明度、解像度そして音色の自然さが際立ち、ダイナミックなパフォーマンスを新次元でお届けします。再生音はきわめてナチュラルですから、クリアであっても階調の豊かさによって、長時間リスニングでも疲労感が起こりません。もちろんノイズフロアの低減に伴い、ダイナミクスは更にクリアーに克明に感じ取ることが出来、音の輪郭もよりはっきりと再現されます。透明な空間から粒子の細かいディテールを備えた音楽が眼前に立ち上がってくる、それはライブ演奏の快感です。

2) 加動力と制動力を重視したPUPPY-ドライバー：低域を受け持つバリエーションには新しいウーファードライバーを装備しました。ドライバーはエッジを強化して、加動力、制動力に圧倒的に優れたトランジェントスピード、フリクエンシーリアリティーは目を見張るものがあります。最低音域へのベースの伸びはさらに深く、低く、速く。また、適度にコントロールされたドライバーの採用により、設置場所の選択にも気を遣わずに、多様な形態、サイズのリスニングルームにもなじむことができます。小気味よいベースのサポートによって、フルレンジシステムとしての能力も大きく飛躍しました。

3) より静かに、よりくっきりとダイナミックに、システム7-7クロスオーバー：ウィルソンオーディオのクロスオーバーテクノロジーはWATT発表以来ユニークな設計によって厳選した素材をドライブしています。システム7ではWATT、PUPPYともにフェーズの時間軸整合性に深いメスを入れ、革新性に満ち溢れたクロスオーバーネットワークを搭載しました。その結果、ディテールの表現性、音色の忠実性、トランジェントスピードと音の消え方を左右するディケイタイムが際だってすぐれ、21世紀のスピーカー基準を刷新します。

4) どこから見てもウィルソンオーディオ・造形デザイン：近未来的な、そして一体感を持ったエレガントなデザイン。見

粉うごかないウィルソンオーディオ独自のかたちはさらなる洗練度をもって、PUPPYにウィングをあたえ、一体感を持った新たな造形美を提示します。フィニッシュはウィルソンクロス仕上げ、そのプリリアントでシックなカラーは機能を最優先させたフォルムを美しく包みみます。

普遍的な設計思想、感動を新たにするリスニングを確立するために成し遂げた数多くの技術革新

「スピーカーは音楽を見る窓」です。あくまで透明で遠方まで見渡せ、見通しがきき、限りなく透明であるべきです。演奏者の熱気を、演奏情景を、リスナーの眼前に再現する、それが透明度である……D.ウィルソンの定義です。そのため、特に次の点に注意を払いました。

1. 共振：エンクロージャはスピーカーデザインに適合した低共振素材をプリガムヤング大学化学研究室との共同研究により開発。筐体構造は既に特許取得のクロスプレーシング方式を応用した上で共振スポトを亜鉛板で押さえ、共振対策を徹底しました。成果はノイズフロアレベルの低下と、測定できないスピーカーのS/N比という根元的問題までスピーカーデザイナーに提言したのです。

2. 雑音をシャットアウト、ネットワーク：エンクロージャ内部はドライバーの動きによって激しく空気が動かされています。ネットワーク構成部品はエンクロージャ内部の空気振動により部品自体が振動します。この微小レベルでの振動が「音楽を見る窓」をくもらせます。1/1000の精度を保証する高品質材料の選別はもとより、そのカプセル、ケース、設置位置など十分検討し、実際のヒアリングで吟味して決定しています。トゥイーターには個別チューニングを行い、振動板がおこすバックウェーブの干渉を徹底して排除しました*。これにより、トゥイーターの振動板はそれ自体の振動のみを空気に伝え、後方に放射した音波の影響を受けず、歪みのない爽やかな音質が得られたのです。

*振動板の動きによって、当然裏側にも空気の動きが発生します。この空気はトゥイーターのマグネットに当たって、振動板自体の動きに悪影響を与えます。

3. 聞き手の前に音楽家を！サウンドステージ：スピーカーの後方に広がる演奏情景をリスニングルームに再現する、これはスピーカーデザイナーの究極目標です**。位相がぴったりと合致すると奥行き、楽器の位置、全体像の明瞭な見通しがはっきりと現れ、録音状況をありのままに再現することができるのです。演奏家、制作者の音楽解釈、音質、音楽再現に対する作曲家の意図などの理解には、その録音を正しい音色と正しい譜調で再現することが大切です。合計8機のドライバーが寸分の狂いもないピストンモーションでシンクロするように補正する大切な役割を担うのがネットワークです。周波数帯域の分割という役割と同じように位相補正もネットワークの重要な役割なのです。よく考えられたネットワークに加え、演奏における楽器の位置の関係を再現するために各ユニット自体の誤差を非常に厳しい許容範囲に抑えアアマッチを選別しました。

**スピーカーの目的はより大きな音圧を与えることだ、という思想はハイエンドオーディオでは通用しません。PA用のスピーカー設計とは根本的に次元を異にします。

4. フォルム：楽器に触れる、演奏家がそこにいるという実在感を得るべくライズタイム（音の立ち上がり）、ディケイタイム（音の立ち下がり）の最適化を図りました。付帯音が加わるとそのスピードは鈍くなります。音の乱反射の原因となるバツフル面積を最少にしてよけいな反射が加わるバツフル効果を排除したエンクロージャをデザインし、WATT+Puppyは今やハイエンドオーディオスピーカーの標準形態となったのです。よい音楽再生にはきめ細かな再生音の譜調表現も非常に大切です。例えていならば黒と白の間のグレーの密度とも言うべきダイナミックシェーディングです。スピーカーとは、正しい音階バランス、音色を備えていることはもちろん、細かくてスムーズ、緻密なダイナミックシェーディング、時間的特性からみた位相の整合、今までノイズに埋もれていた最弱音や録音レベルを下回る耳には聞こえにくい微弱なニュアンスをも再生されなければなりません。

5. より緻密な音場表現：Watt7では放射角を調整

します。多様なリスニング条件、環境下で最高レベルの演奏が楽しめるように位相整合システムを備えました。WAMM、X-などウィルソンの大型システムで既に実績のある特許PHD(Phase Delay Correction)技術応用したタイムアライメント機構を備え、リスナーの位置でより正確に音楽演奏がフォーカスすべくWATT 7の垂直放射方向角度を変えることができます。リスナーとスピーカーの位置から決定した位相アングル補正を行うことで、音楽が全く新しいサウンドイメージをプレゼンテーションします。あたかも演奏家がリスナーの前で演奏しているような、そしてリスナーが大編成オーケストラを最高のシートで楽しんでいるような幻覚を覚えるほどの興奮です。WATT-7の放射角を調整することにより、リスニングポジションにおいてぴったりとフォーカスが合った音源の位置再生が得られます。実際、完全に整合された音を聴くことは快感です。

6. リスナーの感性がすべてを決める：最終的に音を聴くのは人間です。各ユニットとエンクロージャに関しては測定とヒアリングの両面に追い込み、特に厳しい評価を行なうD.ウィルソン自身***によって最適なチューニングがなされています。この点は、他のスピーカーメーカーでも真似のできないところでしょう。私たちは心豊かに音楽を楽しみ、感動し、興奮し、心癒されることをステレオシステムに求めます。最終的な音楽表現力に対する判断は、音楽を愛する人間の敏感な耳によって行われなければ、感動する製品は作りあげることができないのです。

***ディビッド・ウィルソンは1987年までアメリカのハイエンドオーディオ誌、アソルトサウンドの常任評論家でした。

内側に秘められた新次元のリスニング体験は、システム7のすべてに現れています。優れた録音の古いLPレコードも、生々しく、明瞭に、しかも演奏家、作曲家の意図したニュアンスを豊かにリスニング空間に再生します。今までのソースから全く新たな感動を覚えたという感想を寄せてくださるウィルソンオーナーの方々も多くなりそうです。良いスピーカーは音楽のジャンルを選びません。録音の新旧も選びません。記録された音楽に生命を吹き込み、演奏家を蘇らせるような再生を、あなたご自身がウィルソンスピーカーとともに体験できますよう願っております。










左から Sophia / MAXX / WATCH Center / WATCH Surround / Cub-II / System-7 / X-1 seriesIII / WATCH Dog

SPECIFICATIONS

寸法	311mm(W)× 1,022mm(H)※ 470mm(D)	ドライバーユニット	2.5cmホーンドライバー× 1
重量	77kg (一台2ピース)		17cmコンドレンジ× 1
周波数特性	21Hz~ 20k Hz (-3dB)		20cmウーファー× 2
インピーダンス	4Ω	必須駆動パワー	7W/ch 最小
能率	92dB (1W @ 1m)	<small>■このカタログに記載の仕様、規格及び外観等は改善のため予告なく変更することがあります。また、図版の色彩は印刷インキや撮影条件などにより、実際の色と異なって見える場合があります。あらかじめご了承ください。</small>	



STANDARD COLORS

	Diamond Black		Mercedes Silver		Cashmere Beige
	Dark Titanium		Porsche Violet		



CUSTOM COLORS

	Rossa Forte		El Dorado		Boston Green		Platinum
	Titanium		Desert Taupe		Metallic Black		Ferrari Yellow

OHBA Corporation

大場商事株式会社 107-0062 東京都港区南青山 3-1-3 tel.03-3479-5181 fax.03-3479-5339

<http://www.ohbashoji.co.jp/>